

## 会議記録

会議名称	令和3年度北本市行政改革推進委員会（第2日目）
開会及び閉会日時	令和3年10月13日（水） 午後2時から午後4時40分まで
開催場所	文化センター2F第2研修室
議長氏名	委員長：下垣彰
出席委員（者）氏名	土屋雄一、秋葉清、新井康夫、金網幾代、諏訪千加子、根岸京子
欠席委員（者）氏名	なし
説明者の職指名	産業観光課長：赤塚浩二 同課商工労政・観光担当GL：山本真哉 生涯学習課：柳井志道 同課社会教育担当GL：須田歩太
事務局職員職氏名	行政経営課長：佐藤慎也 同課事務管理担当GL：高橋弘 同課企画調整担当主任：長谷川智亮
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 北本市行政改革事業の振り返りと提案 (2) 事務事業の見直し ・就労支援事業 ・市民文芸誌『むくろじ』発行事業 (3) 令和2年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の補足について 3 その他 4 閉会
配布資料 ※1～8は 事前配布	1 次第 2 令和2年度答申対応状況 3 事務事業評価シート「就労支援事業」 4 「就労支援事業」について（所管課 提出資料） 5 チェックシート「就労支援事業」 6 事務事業評価シート「市民文芸誌『むくろじ』発行事業」 7 チェックシート「就労支援事業」 8 事務事業の総点検_結果 9 第1回委員会会議記録 10 北本市行政改革事業の振り返りと提案 11 市民文芸誌『むくろじ』発行事業について（所管課 提出資料）

発言者	発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会 これより第2回行政改革推進委員会を開催する。 はじめに、会議の成立について、「北本市行政改革推進委員会規則」第5条第2項において、「委員会は委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されており、本日は全員出席していることから会議が成立することを報告する。</p> <p>ここで、議事日程の変更をお願いする。本来議事(1)「令和2年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の補足について」を予定していたが、「北本市行政改革事業の振返りと提案」を(1)として追加し、令和2年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の補足については、新たに(3)として最後の議題としたいので了承願う。</p> <p>それでは、「北本市行政改革推進委員会規則」第5条第1項に、「委員会は委員長が招集し会議の議長となる」と規定されているので、この後の進行については、下垣委員長をお願いする。</p>
委員長	<p>2 議事 (1)令和2年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の補足について 資料「北本市行政改革事業の振返りと提案」の説明をさせていただく。前回の委員会にて、今年度の諮問事業が提示されたが、事業費が小さいのではないかとの意見があったので、一度振り返っておいた方がよいと考えた。当委員会では、諮問を受けたものについて、廃止、見直しの可能性について審議することになっている。よって、市から諮問する事業に係る経費以上の削減効果は出せないのであるが、やる以上は、委員会の成果をより大きなものにしたいという思いがある。</p> <p>そこで2ページ目の表を開いていただきたい。これは、行政改革推進委員会にて、平成30年度から昨年度までの成果を表したものである。平成30年度は委員会開催回数が5回、審査対象の事業費用が約3,700万円である。そこから見直しを検討し、削減できそうな金額として算出した収支改善の効果金額の合計が約760万円。これに対して行政改</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>革に係る費用として、行政経営課職員の人件費が約200万円である。これは、課の年間人件費3,584万円に5.6%を乗じた数字である。さらにこの委員会開催の費用として委員への謝礼が26.7万円。まとめると収支改善の効果である760万円を経費227.4万円で割ると投資対効果指標が3.4倍となる。</p> <p>令和3年度については、行政経営課の人件費の他に事務事業の総点検の人件費176.9万円がさらに上乘せとなる。</p> <p>令和元年度については、使用料手数料の見直しを実施し、これにより収入増加とみなす効果が693.5万円で、費用削減金額の1,076.5万円と合わせて、収支改善効果が1,770万円で、投資対効果指標が7.8倍である。</p> <p>令和2年度については、収支改善効果が1.1倍だったが、これはコロナ禍の影響で、まともな検討ができなかったことが原因である。しかし、おむつ無料化事業については、事業そのものを見直すことで、費用削減だけでなく、利用者の利便性向上に資する効果があり、事業としての価値が上がったと言える。</p> <p>行政経営課の人件費と行政改革推進委員会の委員の謝礼を合わせると、経費は通常は220万円で、令和3年度は事務事業の総点検の人件費が加わって、400万円ぐらいかかっているので、費用対効果について検討すべきと考える。</p> <p>今年度はもう諮問事業が決まっているので仕方がないが、来年度以降、より経費の大きな事業を対象とすべきである。</p> <p>資料6ページ、行政改革推進事業のプロセス振り返りをみて考えると、まず総点検対象事業として、185件を点検した。結果、廃止13件、見直し84件、継続108件で、廃止と見直しの合計が約4億2,600万円。そこから本委員会に諮問された事業の事業費は、5件で約500万円なので、ここをもう少し工夫していただきたい。いろいろな事情があって、諮問対象としていない事業もあると思うが、むしろそのような事業こそ、諮問対象とし、オープンな議論をすることに意味があると考えている。</p> <p>一方で、事業費を下げるという議論だけでなく、一昨年、昨年と議論したおむつ無料化事業のように、事業そのものの利便性を高めることで、子育て世代がもっと北本に住みたいと思えるような事業価値向上を検討していくことが重要であ</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>る。そうすることで北本市のブランド価値を上げ、市の人口が増えていくようなことに繋げていきたい。これは行政経営課長も私も同じ思いなので、みなさんと議論を深めていきたいと考えている。</p> <p>以上、本件について、質問や意見はあるか。</p>
委員	<p>資料2ページの表はすごくわかりやすい。やるべきことが明確である。</p>
委員長	<p>整理して見えるようにしないと、どこがネックになっているのか状況がよく分からなくなる。私がコンサルタントとして対象にしているのは主に製造業だが、大手で業態の変化が大きいところだと、設備投資は大体2年、投資回収の効果は2倍ぐらいを目安に投資判断をしている。製造業は、事業環境の変化が激しいところなのだが、この委員会ではもうちょっと高いレベルで、投資対効果指標を5倍ぐらいに設定すべきと考えている。</p>
委員	<p>私が参加している自治会長の会議で、配布物を減らすことで効率化するための検討を行っている。自治会加入者を対象に広報等を全戸配布しているのだが、どういったものを配布するのがいいかアンケートを実施した。結果、広報は98%が配ってほしいとの回答を得たが、他の配布物だと数字がガクッと下がる。必要ならば、いろいろなものをそれぞれ発行して配布するのではなく、広報の中に盛り込めないかという意見もでてきている。そうすれば、様々な課で発行しているものについても費用が削減できるのではないか。</p>
委員長	<p>2 議事 (2)事務事業の見直し  それでは、議事(2)事務事業の見直しに移る。  議事の(2)事務事業の見直し「就労支援事業」について事業の概要、目的、効果等について所管課より説明をお願いします。</p> <p>【所管課入室・説明】</p>
委員長	<p>それでは、質疑に移る。</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員	相談に来る方はどのような年代の方が多いのか。あと相談者の人数については、同じ人の重複があると思うが実数はどのくらいか。
産業観光課	高い年齢層、いわゆるシニア世代の方の相談が多い。実数については、今すぐに答えることができないが、お見込みのとおり一人の方が複数回相談に来ることがある。
委員長	相談件数は、相談者の数なのか。それとも同一人物が複数回行ったら、それもカウントされるのか。
産業観光課	延べ件数である。例えば、一人が3件相談すれば3件となる。
委員長	求職者数の定義を教えてください。
産業観光課	会社から求められている求職者の人数である。
委員長	月平均求人数とは何か。
産業観光課	相談件数を求職者数で割った数である。
委員長	内職あっせん数とは何か。
産業観光課	内職のあっせんが決まった数である。
委員長	内職を求める人に対するあっせんの決まった人の割合というのは把握しているか。
産業観光課	こちらの資料では、表していない。
委員	本事業を見直して、人を配置することが無くなったとした場合、代替事業等を検討しているか。
産業観光課	代替事業は検討していない。というのも仮に職員がこの事業を相談員に代わって実施した場合のコストを計算したが、その場合、現状より費用が掛かることになるからである。

発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>職員が実施した場合、費用が増すとのことであるが、相談件数は非常に少ない。どのように算定したのか。</p>
産業観光課	<p>令和2年度の実績件数に、1相談につき1時間を要するとして、職員の人件費単価を乗じて計算すると、60万円を超える金額となる。さらに就労支援業務に費やした時間分の通常業務が時間外勤務となるため、その時間外手当を加算すると、130万円を超える見込みとなる。よって、費用対効果から、本事業を継続すべきと考えている。</p>
委員	<p>本事業は、現在従事している相談員の方でないと対応できないのか。また同一人物が複数回相談する例があるとのことだが、そのような場合には1時間も2時間もかからないのではないかと思うのだがどうか。最後に相談件数に電話相談も含まれるのか。</p>
産業観光課	<p>無料職業紹介については、元ハローワークの所長をしていた方が就いており、これまでのスキルやノウハウを持っており、企業とのネットワークもあることから、多岐にわたる相談に対応できている。市職員では同じように実施することが難しい。同一人物の相談には短時間での対応も可能と思うが、新しく来た方には短時間での対応は難しいと聞いている。電話対応も含まれている。</p>
委員	<p>内職の相談は、相談日が決まっていると思うが、まったく相談の無い日はあるのか。それと稼働率的には、今くらいの相談人数で目一杯なのか、それとも余裕があるのか。令和2年度は、コロナ禍で外出を控え、相談件数も減っていたと思うが、令和3年度になって、失業している人も多い中、相談件数が増えてくると思うが対応できるのか。</p>
産業観光課	<p>日時を決めて実施している。基本的にはすべて予約制でやっているの、稼働率的には、今の段階では多少余裕がある。御指摘のとおり、令和3年度は相談人数も増えると思われるので、相談員共々、今後の体制を検討していきたい。</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員	求人件数以上の案件はないと思うが、そうしたら相談に1時間もかからないと思うのだが。
産業観光課	相談に応じて、ハローワークの情報も提供している。
委員	では、資料の求人件数にはハローワークの件数も入っているのか。
産業観光課	入っていない。あくまで市の無料職業紹介独自の案件の求人件数である。ただし、提供している情報としてはハローワークの情報も提供しているということである。
委員長	令和2年度の求職者数95人に対して、就職件数が5人というのは少ないと思うが課題は何か。
産業観光課	高年者の相談が多いため、なかなか就職に至らないことが原因であると考えている。
委員	内職について、求職者数が年々減っているようだが、内職を依頼する企業自体が減っているということか。
産業観光課	廃業事業者がここ数年で増えてきている。
委員	そうすると内職を希望している人からすると職探しが難しくなってきているということか。
産業観光課	お見込みのとおり。
委員長	自宅で仕事ができるスキルを身に付けられるような事業は提供していないのか。
産業観光課	市の独自の事業としては実施していないが、そういった相談があれば、埼玉県が積極的に職業訓練を実施しているので、そちらを紹介している。
委員	内職というのは、いわゆる手作業で1個いくらといったものか。パソコンを使ったようなものではないと思うが。

発言者	発言内容・決定事項
産業観光課	お見込みのとおり。子供が遊ぶおもちゃとか、そういったものの組み立てなどの手作業等に応募があると聞いている。パソコンを使った作業となると、創業の方の事業になる。個人事業主として創業する方はいる。
委員長	他に質問がないようなので、産業観光課は、ここで退室となる。  【所管課退室】  【各委員 チェックシートを記入】
委員長	廃止が一人、縮小が三人、見直しが三人、現状維持、拡大は一人もいなかった。
委員	内職相談事業については、今のやり方ではなく、若い方に魅力があるような内容にして欲しい。職業相談事業の方は、実績が悪いのでこのままの状態だと廃止と判断せざるを得ない。
委員	相談員を配置することは廃止した方がいい。市の職員が実施すると費用が増すという話があったが、それは職員が専任で実施した場合の話である。今はインターネットや電話など情報提供の方法はいろいろある。これまでの求人についてもデータベースがあるはずなので、それを掲示して提供すれば、専門職のスキルが必須であるとは思えない。
委員	相談数が減っているが、高齢者のためにある程度残してもいいと思う。しかし本当に働く意欲があるのなら、ここに来なくてもよいのではないか。
委員	相談に対して、就職の成立件数が非常に少ないので相談員を置く必要はない。職員が代替すると費用が増すのであれば、市独自求人について、庁舎内にコーナーを設けて貼り出せば、必要な人が見に来ると思う。見てもらったうえで職員に相談してもらえば、時間も短縮できるので、職員で十分対



発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>応できると思う。</p> <p>ハローワークが遠いからということでのニーズがあるのかもしれない。しかし、今後デジタル化に対応できる人も増えてくると思われるので、相談窓口の開催を週2回から月1回とか週1回といった形で縮小していった方がよい。</p>
事務局	<p>近隣では、大宮にハローワークがあるが、上尾市、鴻巣市にもハローワークの出張所のようなものがあるので距離の問題ではないかもしれない。そもそも就労支援事業は、勤労福祉センターという場所で行っており、国から補助金をもらって作ったという経緯がある。今後市の公共施設における再編計画の中で、最初に廃止していく施設として進めている。ただし、労働者に対する機能そのものを無くす訳ではないので、その後、施設の統合複合といった形で、機能を別の施設に移すことになる。そうすると施設も新しく、広さも変わるので、求人情報を紙で掲示し、ネット検索するパソコンを設置して、利用者自身で閲覧できるようにし、また先ほど話に出たように、相談員を月に1回にして頻度を減らすなどの見直しを検討することができる。</p>
委員長	<p>私は最初、勤労意欲があるが、働く場所がない人のニーズに答えられていないということが問題であると感じていたが、本当に意欲のある人は、たぶんハローワーク等に直接行くのだろう。</p>
事務局	<p>本格的にハローワークに行く前の場所として設置してもいいかもしれない。チャイルドコーナーを併設して、子育て世帯が、こどもを遊ばせながら、仕事を調べるような活用方法も考えられるのではないか。</p>
委員	<p>いずれにしても今のやり方では費用対効果が見込めない。</p>
委員長	<p>内職についてはどうか。かなり減ってきていると思うが。</p>
委員	<p>今はポスティングのような仕事が多い。家にいて手作業でやる仕事がほとんど無くなっている。</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>内職そのものが大きく変化しているので、それで収入を得ようということ自体難しくなっているのではないか。</p>
事務局	<p>今の形がいいかどうかは別として、就労支援そのものの需要はあると思われる。</p>
委員長	<p>結論として、一つは今の形の内職相談や職業相談は、廃止とする。二つ目は、子育て世代の方で子どもを預けて職探しをできるようなハローワークに行きづらい人が、行けるような場所を設ける。三つ目として、就労支援セミナーなどに行く人のニーズや就労に関する課題を聞き取り、必要な調査をして、政策を立てていく。</p> <p>これらを本委員会の意見として、今後の方向性は、「見直し」とする。</p> <p>【各委員了承】</p>
委員長	<p>「就労支援事業」についての審議を終了する。</p> <p>【休憩】</p>
委員長	<p>議事の(2)事務事業の見直し「市民文芸誌『むくろじ』発行事業」について事業の概要、目的、効果等について所管課より説明をお願いします。</p> <p>【所管課入室・説明】</p>
委員長	<p>それでは、質疑に移る。</p>
委員	<p>市役所の市政情報コーナーにある「むくろじ」を見て、このようにきれいに製本されたら、掲載された人たちはとてもうれしいだろうと思った。昭和52年から始まったとのことだが、過去に廃止するような話がでたことはあるのか。あと、この「むくろじ」以外で市民が作品を投稿できる機会があるのか聞きたい。</p>

発言者	発言内容・決定事項
生涯学習課	<p>過去に廃止するような話が出たとは聞いていない。他に投稿するような機会は市内には無いが、埼玉県でみると「文芸埼玉」というのがある。こちらは選考する形をとっている。「むくろじ」は、原則応募のあったものはすべて掲載している。ただ内容的に問題があるものについては、本人に了解の上、掲載を見送ったものもある。</p>
委員	<p>ジュニアの応募が極端に少なくなっているようだが。学校主催でやっているものがなくなったのか。ジュニアで自主的に投稿している方がいるのかも聞きたい。</p>
生涯学習課	<p>学校で熱心な先生がいるときには応募が多いが、そのような先生が異動すると投稿数は減ってしまう。令和2年度はジュニアで4名の投稿があるが、これらの方は、学校からではなく、個人的に応募していると思われる。</p>
委員	<p>発行部数が380冊、無償配布が122冊、売れたのが93冊、そうすると165冊余るが、在庫はどうしているのか。</p>
生涯学習課	<p>毎年保管しているが、古いものは何冊か残して廃棄している。最新号だけじゃなく過去のものが欲しいという方もいる。</p>
委員	<p>発行部数は減らせないのか。</p>
生涯学習課	<p>ずっと380冊でやってきている。減らすという選択肢もあるが、単価が上がるので、費用的な効果は低い。在庫を減らすという面はあるかと思う。</p>
委員	<p>学校で活用するなどの計画はないのか。</p>
生涯学習課	<p>過去にも聞いたことがないし、現在もない。</p>
委員長	<p>事務事業評価シートに記載の事業コストについて聞きたい。事業費44.6万円は、印刷費と講評者への謝金、人件費は332.2万円、トータルで約370万円の事業なの</p>

発言者	発言内容・決定事項
生涯学習課	で、人件費が9割程度ということか。
委員長	そのとおり。
委員	人件費の中身は何か。
生涯学習課	編集委員、講評者の募集と委嘱、会議の主催、作品の修正等、窓口での応募の受付が主なものである。
委員	「むくろじ発行事業」というのは、冊子を発行するための事業なのか。事務事業評価シートの目的には、「優れた作品を市民に提供し、文芸の普及向上に資する」とあるが、過去の冊子を3冊くらいみると、だいたい同じ方が投稿している。あと掲載されている作品に選考がないので講評する必要があるのではないかと考えている。そうすると事業目的の「優れた作品を市民に提供する」という指標が達成されてなくて、発行することが目的になっているような気がする。
生涯学習課	「むくろじ」を発行することが目的ではないかと意見について、その意見に近い実態となってしまうのかもしれないが、投稿者たちにとって、自分たちの名前が掲載される機会があることが大切だと考えている。よって、目的は十分に果たしていると考えている。選考はしていないが、作品に対する講評がすべて掲載されているので、投稿者も喜んでいると考えている。
委員	ジュニアの部で作品が少なくなっているということだが、全校に冊子が行き渡ってないのか。
生涯学習課	募集は全校に行っている。
委員	選考して表彰するとか、商品を出すとか、そういった働きかけや仕組みといったものは過去になかったのか。
生涯学習課	過去にやったことはないが、貴重なご意見として伺っておきたいと思う。

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>文芸作品を発表する場として、今は SNS とかホームページとか色々な場があると思うが、そういったものに見直していくといった考えはあるか。</p>
生涯学習課	<p>検討したことはあるが、投稿者がそういったことに明るい方々ではないということと、ホームページ上にこれだけの情報を載せるとなるとかなりの作業量なので、ちょっと厳しいと考えている。</p>
委員	<p>小学生が過去多かったときには、選考があったのか。例えば平成21年は、投稿数が145となっているが、それだけ多いと作品はすべて載せられないのではないか。</p>
生涯学習課	<p>おそらく選考はしていない。昔の方が冊子は厚かった。選考しているとすれば、学校の方で行ってから応募していたのではないかと思う。</p>
事務局	<p>過去に本事業の担当をしていたが、俳句に明るい先生がいて、そこで選考してから投稿していたと記憶している。</p>
委員長	<p>他に質問がないようなので、生涯学習課は、ここで退室となる。</p> <p style="text-align: center;"><b>【所管課退室】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【各委員 チェックシートを記入】</b></p>
委員長	<p>今回も拡大とか現状維持はなく、縮小見直しが三人、廃止が四人となった。</p>
委員	<p>文芸ということで生きがいにされている方もいると思うので、いきなり廃止ではなく、規模を縮小して実施していくのがよいのではないか。</p>
委員	<p>選考もない中で、目的に資する事業とは思えないので、「むくろじ」の発行する事業そのものは廃止する。しかし、ジュニアの部門は、金をかけない形で拡大してもいいのでは</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>ないか。表彰制度を設けて実施すると、投稿者も頑張ろうという意欲に繋がる。わたしが在籍していた建設産業団体連合会では、埼玉の建設業の魅力向上を目的として、絵画展を実施していた。県内の小中学生全校に対して作品を募集し、選考は美術の先生にやってもらうのでお金はかからない。知事賞や教育長賞で表彰し、作品は冊子にするのではなく、建設産業団体連合会の発行しているカレンダーや広報誌の表紙にするなどして活用した。むくろじ事業についても別の形で、発展的な方向性を見出していければと思う。</p> <p>むくろじの冊子としては廃止して、委員長の言っていたように今の時代に合わせて、デジタル化して、ホームページの範囲でやっていけばいいのではないか。</p>
委員長	<p>本にすること自体はそんなに経費がかかっていない。それよりも人件費が300万円くらいかかっているので、それがもったいないと思う。市で文書の校正とかやる意味があるのか疑問である。</p>
委員	<p>文芸についての一部の人の趣味の世界になってしまっているのではないか。だったらスポーツとか他の分野にもお金が出されていないのはおかしいので、廃止が妥当である。</p>
委員	<p>投稿した人が全員掲載されること、冊子の半数近くが在庫になっていること、読者が限定的で個人の発表の場になっていると思われることが気になり、廃止でもいいと考えた。</p>
委員	<p>市の事業というよりは、個人の発表の場となっている実態。ジュニアも4人しか投稿していない。学校で配布しているのなら、どこかのタイミングで何か学校で生かしてもらえればと思う。</p>
委員	<p>地域を見直すための一環として学校の授業で使う等、他で活用しているなら意味があると思う。やり方を変えるっていう意味で。</p>
委員長	<p>文芸を広めることを目的としているので、新しい投稿者が</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>出てくるような場であれば価値があるが、ほぼ固定した投稿者のための発表の場でしかないのなら、市の事業としてやる価値がない。発表の場というだけなら、ホームページやSNSなどウェブで投稿する場があるし、そういったことが得意でない人については、スマホやパソコンを使ったやり方を教えてあげる方がこれからの時代に合っている。デジタルデバイドの解消を図るような事業であれば、価値があるが、今の形であれば、廃止した方がいい。ペーパーレスで発行するという意見もあるが、発行のやり方よりも市の職員が時間をかけていることが課題である。だれかボランティアとかでやってくれる人がいればいいが。</p>
委員	<p>費やしている時間を考えると、今後も市の職員がやるのであれば相当な金額がかかると思われる。</p>
委員長	<p>基本的には印刷製本しない。冊子を作るとしても本当に必要な人の分だけ5部とか10部にする。無償配布先も教育委員会の委員とか議員とか本当に読んでいるのだろうか。講評者は欲しいだろうと思うが。それだって本でなくて、データをCDで配布すれば、100円とか200円でできると思う。</p>
委員	<p>自分の興味のあるものは別として、そうでないものはあまり読まないと思う。</p>
委員	<p>どれくらいの人が読んでいるのかなと考えてしまう。</p>
委員長	<p>投稿した人は読むし、冊子にしてほしいだろうが、この冊子を使って何かに活用するといった取り組みもない。書きたい人が投稿して、落とされることもなく掲載されるという今のレベルでは、同人誌の域を出ない。これに市の職員が文章を直したりする費用が300万円程度、講評者への謝礼が16万円程度かかるということであれば、事業の価値がないといえる。</p>
委員	<p>趣味の世界に300万円というのはどうかと思う。同人誌なら自分たちで費用を出すのだから構わないが、行政で趣味</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>の人たちにお金を使うというのは疑問である。</p> <p>やるとすればいろいろなところに場があるので、CDで配布するとかWEBに投稿する。冊子にしたいのであれば、自費出版とし、あとはボランティアに編集してもらうなどして実施すればよい。市としてはやらない。ただ、こういったことで新しい人が何かを発表していく場が広がるような取り組みがあればよいのだが。</p>
委員	<p>これがきっかけで何らかの文学賞を取ったとか、そういうことがあればまだ価値があると思う。</p>
委員	<p>そのためにはやはり選考が必要ではないか。</p>
事務局	<p>3～4年前になるが、「むくろじ」に投稿している方が文芸埼玉の大賞をとった。その前年は準賞であった。</p>
委員	<p>そういったことをPRできていないのではないか。PRができていれば多少なりとも市で事業を継続する材料となる。</p>
事務局	<p>桶川には、さいたま文学館という施設があり、文芸作品を展示し、文芸埼玉とも提携している。よって、優れた作品を展示し、世に知らしめるようなことができれば、市で行う事業の目的に沿うことができるのかもしれない。</p>
委員	<p>続けるなら、それくらいのことを考えないといけない。</p>
委員長	<p>継続するなら、裾野を拡げる、賞を取った方の作品のアピールをするなど、単に発行するのではなく、文芸の志を持つ人が増えていくような取り組みを行うことが前提となる。それができてないなら、いったん廃止ということではどうか。</p>
事務局	<p>廃止にすると「むくろじ」という名前が使えなくなる。文芸誌ということも鑑み、休刊とするのはどうか。</p>
委員長	<p>それはいいと思う。纏めると、本事業については一度休刊とする。その上で、条件をクリアした場合、「むくろじ」と</p>



発言者	発言内容・決定事項
	<p>して復刊する余地を残すということによいか。</p> <p><b>【各委員了承】</b></p>
委員長	<p>では、「市民文芸誌『むくろじ』発行事業」についての審議を終了する。</p>
委員長	<p>それでは、(3)令和2年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の補足について、事務局より説明をお願いします。</p> <p><b>【事務局説明】</b></p>
委員長	<p>このことについて、何か質問はあるか。</p>
委員	<p>こども商品券の使える事業者は市内にどれくらいあるのか。</p>
事務局	<p>こども商品券は株式会社トイカードが運営しており、そちらのホームページで調べるとスウィン北本とマツモトキヨシの二つである。</p>
委員	<p>昨年の説明では、ドラッグストアはすべて使えるようになるかといっていたと思うが。</p>
事務局	<p>今も運営企業が営業をかけているところだと思うが、正確な状況を所管課に確認して、次回報告する。</p>
委員長	<p>その他、各委員から質問等あるか。 無いようなのでこれで議事を終了し、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>3 その他 議事以外のところで、質問等あるか。</p> <p><b>【委員質問なし】</b></p> <p><b>【事務局次回開催の日時説明】</b></p>

